

実践英語

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 助教		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
担当教員	柳谷 千枝子 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

このコースは、看護英語を題材にしたDVD教材を使用しながら、様々な医療場面で必要とされるコミュニケーションスキルの養成および、関連知識の習得を目的とする。ここで学習する内容は、医療人を志す皆さんが今後、それぞれの専門分野で学ぶ際に役立つ知識や、文献を読む際に不可欠な医療に関する基礎的な語彙も提供する。

具体的には、DVD教材を通じて患者さんとの対話におけるコミュニケーションのポイントを押さえ、医療に関する英語表現や会話の練習を行う。この練習により、患者さんの訴えを正確に聞き取り、適切に対応するスキルを磨く。同時に、基礎編から応用編(AFP Science Report)まで様々なメディカルターム（臓器、病気の名称等）の語彙の習得にも取り組む。講義では、このようなアクティビティを通じて、日常生活や医療現場等で幅広く活用できる実践的な英語表現やコミュニケーションに関する知識・方法を学習し、将来、諸外国の人々と英語でスムーズに意思疎通を図ることができるよう訓練する。

・教育成果（アウトカム）

意思伝達に関する実践的な英語表現・知識・方法等を学習することにより、グローバル社会で医療人に不可欠なコミュニケーション能力を向上させる上で必要な技能、能力を修得できる。
（ディプロマ・ポリシー：3.4.9）

・到達目標（SBO）

1. 様々な医療場面でのコミュニケーションに関連した語彙、英語表現を習得し運用できる。
2. 患者さんの訴えを正確に聞き取り、英語で適切に対応することができる。
3. DVDを視聴しネイティブ・スピードの英語に慣れると同時に、内容を理解・発音できる。
4. 実践的な英会話を通じて、快適でスムーズなコミュニケーションの環境をつくる要素を理解できる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
4/13	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Introduction Unit 1: Greetings 1. 患者さんとの様々な挨拶の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（医療従事者の名称）を学び、英語で応用できる。
4/24	月	5	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 2: Giving Explanations 1. 患者さんへの説明の仕方と行動を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（体全体の名称）を学び、英語で応用できる。
4/27	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 3: Tests (X-ray) 1. 検査について患者さんに的確に伝える方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頭部の名称）を学び、英語で応用できる。
5/11	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 4: Inviting the Patient to Talk, and Listening 1. 患者さんの個人的な状況や感情を汲み取る方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。

					4. 医療関連の重要表現（臓器の名称）を学び、英語で応用できる。
5/18	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 5: Nursing Care and Asking Permission 1. 患者さんの許可を得る方法を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（処置に関する表現）を学び、英語で応用できる。
5/25	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 6: Injection 1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。
6/1	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 7: Vital Signs 1. 患者さんに注射を打つ際の指示表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（感染症と予防接種の名称）を学び、英語で応用できる。
6/8	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	AFP Scientific Report: Fight against AIDS Continues（応用編） 1. AIDS 治療の現在と薬の開発・実用化について学び、その内容を理解できる。 2. AIDS に関するトピックを扱った英語ニュースを聴いて内容を把握し、説明できる。 3. トピックに関する要点や自分の意見を日本語あるいは英語で説明できる。

6/15	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 9: Operation 1. 患者さんへの手術前の指示や再確認する表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（様々な痛みに関する表現）を学び、英語で応用できる。
6/22	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 11: Medication 1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（疾病と創傷1）を学び、英語で応用できる。
6/29	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 11: Medication 1. 投薬に関する指示や患者さんへの確認の仕方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（疾病と創傷1）を学び、英語で応用できる。
7/6	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 13: Negotiation Management 1. 患者さんの主訴などを聞く表現を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。 3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（疾病と創傷2）を学び、英語で応用できる。
7/13	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	Unit 15: Consultation (Cancer) 1. 患者さんの気持ちを尊重し相談に乗る会話の進め方を学び、英語で実践できる。 2. 英会話の音声を聴いて内容を把握し、説明することができる。

					3. 正しい発音で本文を音読し、内容や要点を日本語で説明できる。 4. 医療関連の重要表現（頻用される略語）を学び、英語で応用できる。
7/20	木	2	外国語学科 英語分野	柳谷 千枝子 助教	AFP Scientific Report: Experimenting with Life (応用編) Review 1. 幹細胞の法と生命倫理について学び、その内容を理解できる。 2. 再生医療に関するトピックを扱った英語ニュースを聴いて内容を把握し、説明できる。 3. トピックに関する要点や自分の意見を日本語あるいは英語で説明できる。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	Everyday English for Nursing on DVD	Yasuko Onjohji, John Skelton	SEIBIDO (成美堂)	2016

・成績評価方法

授業時の参加態度、発話の様子、予習を含む平常点（20%）、小テスト（20%）、期末試験（60%）の割合で評価を行う。

・特記事項・その他

事前学修及び事前学修時間
学習内容の理解を深め定着を図るために、授業範囲（テキスト・ハンドアウト）には必ず目を通し、わからない英単語をあらかじめ調べた上で出席する。併せて、自己学習 DVD で英語を聴く習慣をつけることで、リスニング強化につながる。復習の際は、授業で分からなかった（間違えた）ところや、特に重要なポイントと指摘された箇所を見直し、自己学習 DVD で再確認する。会話表現は音読して、単語の発音やアクセントを確認しながら復習する。なお、事前学修の時間は最低 30 分を要する。確認テストを実施した場合は採点後に返却・解説する。また、提出課題については添削後コメントを付して返却する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 PC (東芝)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (富士通) FMV-N F 40W	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (Panasonic) R7/U7600	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (Apple) NA877J/A	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (SONY) VGC-LN52JGB	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノート型 PC (NEC) PC-YV22AEDAMBL6	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	PC (Apple) iMac27/3.20GHzCorei3	1	資料作成
講義	ノート型 PC (Panasonic) CF-J9/LUDDDS	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	iPod (Apple)	5	リスニング、課外自習等
講義	CD /DVD プレーヤー	4	リスニング、DVD 教材視聴覚用
講義	ノートパソコン (Mac Book Air CTOZOJK)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	HD ビデオカメラ一式 (Canon・M52)	1	講義資料作成
講義	ノートパソコン (富士通・PH50/E)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (富士通・MH30/G)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	デスクトップパソコン (iMac27・ZOJN CTO Education)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	ノートパソコン (Panasonic・CF-J9LLUDDDS)	1	資料作成、講義プレゼン用
講義	液晶プロジェクター (SONY・VPL-EW7)	1	講義プレゼン用

